マルチメディア
ユーザー ガイド

初版：2008 年 9 月

製品番号：487692-291

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1 マルチメディア機能

お使いのコンピュータには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。お使いのコンピュータには、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

- 音楽を再生する内蔵スピーカ
- 独自のオーディオを録音するための内蔵マイク
- 動画の撮影および共有ができる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- マルチメディアに関する操作をすばやく行うことのできるホットキー

注記： お使いのコンピュータによっては、以下の一覧に記載されていても、一部のコンポーネントが含まれていない場合があります。

以下の図と表で、コンピュータのマルチメディア コンポーネントについて説明します。

名称		説明
（1）	Web カメラ ランプ（一部のモデルのみ）	点灯：Web カメラを使用しています
（2）	Web カメラ（一部のモデルのみ）	サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
（3）	内蔵マイク（×2）	サウンドを録音し、ビデオ会議やボイス オーバ IP（VoIP）のためにサウンドを送信します
（4）	ミュート（消音）ボタン	コンピュータの音を消したり元に戻したりします
（5）	音量調整スライダ	スピーカの音量を調整します
（6）	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピュータ用ヘッドセットのマイクまたはモノラル マイクを接続します
（7）	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオなどを接続します
（8）	スピーカ	サウンドを出力します
（9）	名刺スロット	Web カメラで画面を撮影できるように名刺を正しい位置に固定します

2 マルチメディア ソフトウェア

注記： オプティカル ディスク（CD および DVD）を使用するには、別売の HP 2700 Ultra-Slim 用拡張ベースまたは外付けマルチベイにオプティカル ドライブを装着して使用する必要があります。

お使いのコンピュータにはマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。一部のモデルでは、付属のオプティカル ディスクに追加のマルチメディア ソフトウェアが収録されています。

コンピュータに搭載されているハードウェアおよびソフトウェアによっては、マルチメディアに関する以下の操作がサポートされています。

- オーディオ CD、ビデオ CD、オーディオ DVD、ビデオ DVD、インターネット ラジオなどのデジタル メディアの再生
- データ CD の作成またはコピー
- オーディオ CD の作成、編集、および書き込み
- ビデオまたは動画の作成、編集、および DVD またはビデオ CD への書き込み

注意： 情報の損失やディスクの損傷を防ぐために、以下のガイドラインを参考にしてください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを安定した外部電源に接続してください。コンピュータがバッテリ電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外は、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

コピー元のディスクからコピー先のディスクに、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクに直接コピーしないでください。まずコピー元のディスクまたはネットワーク ドライブからハードドライブにコピーし、その後でハードドライブからコピー先のディスクにコピーしてください。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使用したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

注記： コンピュータに付属のソフトウェアの使用方法について詳しくは、ソフトウェアの説明書を参照してください。説明書はディスクまたは該当するプログラム内のヘルプ ファイルとして提供されます。ソフトウェアの製造元の Web サイトから説明書を入手できる場合もあります。

プリインストール済みのマルチメディア ソフトウェアへのアクセス

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアにアクセスするには、以下の手順で操作します。

▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。

注記： サブフォルダに含まれているプログラムもあります。

注記： コンピュータの付属ソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

CD または DVD からマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. コンピュータの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。

再生の中断の予防

CD や DVD の再生が中断される可能性を低減するには、以下の点を確認してください。

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- ディスクの再生中は、ハードウェアの取り付けまたは取り外しを行わないでください。

ディスクの再生中にハイバネーションまたはスタンバイ状態にしないでください。ハイバネーションまたはスタンバイ状態にしようとすると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。 **[いいえ]**をクリックすると以下のようになります。

- 再生が再開します。

  または

- マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。CD または DVD の再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。まれに、プログラムを終了してから再起動しなければならない場合があります。

DVD 地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

△ **注意：** DVD ドライブの地域設定を変更できるのは 5 回までです。

5 回目に選択した地域の設定が DVD ドライブの最終的な設定になります。

ドライブの地域の残り変更可能回数が**[DVD 地域]**タブの[残り変更回数]ボックスに表示されます。このフィールドに 5 回目に指定された値が最終的な設定になり、以後変更はできません。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の手順を行います。

1. **[スタート]**→**[マイ コンピュータ]**の順に選択します。
2. ウィンドウを右クリックし、**[プロパティ]**→**[ハードウェア]**タブ→**[デバイス マネージャ]**の順に選択します。
3. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**の隣のプラス記号（＋）をクリックし、地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックします。次に**[プロパティ]**をクリックします。
4. **[DVD 地域]**タブで地域を変更します。
5. **[OK]**をクリックします。

著作権に関する警告

コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権により保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

3 オーディオ

お使いのコンピュータでは、以下のさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピュータのスピーカおよび接続した外付けスピーカを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続された外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）または FM ラジオ信号の受信
- オーディオ CD の作成（書き込み）（一部のモデルのみ）

外付けオーディオ デバイスの接続

⚠ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外付けスピーカ、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピュータの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピュータの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバがある場合は、そのドライバをインストールします。

注記： ドライバは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバータとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピュータのシステム サウンドを確認するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]**の順に選択します。
2. **[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]**の順にクリックします。
3. [サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ]ウィンドウが開いたら、**[サウンド]**タブをクリックします。**[プログラム イベント]**でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択して、**[テスト]**ボタンをクリックします。

   スピーカまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピュータの録音機能を確認するには、以下の手順で操作します。

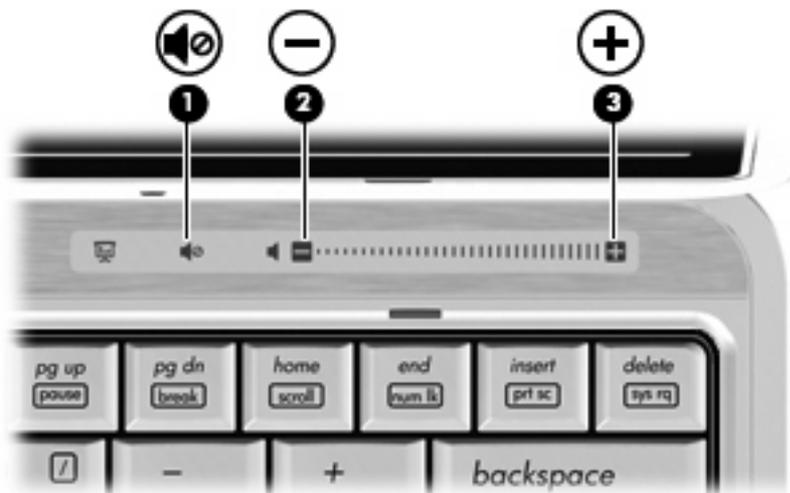
1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[サウンド レコーダ]**の順に選択します。
2. **[録音]**をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. [Windows Media Player]を起動して、サウンドを再生します。

注記： 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

▲ コンピュータのオーディオ設定を確認または変更するには、タスクバー上の**[サウンド]**アイコンを右クリックするか、**[スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]**の順に選択します。

音量の調整

音量の調整には、以下のどちらかを使用します。

- コンピュータ本体の音量調整デバイス：
  - 消音（ミュート）したり音量を元に戻したりするには、ミュート（消音）ボタン（**1**）を押します。
  - 音量を下げるには、音量調整スライダで指を右から左にスライドさせます。音量調整スライダの左端にあるマイナス記号（－）（**2**）を押したままにしても音量を下げることができます。
  - 音量を上げるには、音量調整スライダで指を左から右にスライドさせます。音量調整スライダの右端にあるプラス記号（＋）（**3**）を押したままにしても音量を上げることができます。

- Windows®の[ボリューム コントロール]：

  a. タスクバーの右端にある通知領域の**[音量]**アイコンをクリックします。

  b. スライダを上下に動かして、音量を上げたり下げたりします。**[ミュート]**チェック ボックスにチェックを入れると、音が出なくなります。

  または

  a. 通知領域の**[音量]**アイコンをダブルクリックします。

  b. 音量を調整するには、[スピーカ]列の**[音量]**スライダを上下に移動します。バランスの調整や音を消すこともできます。

  [音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順で操作して表示します。

  a. **[スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]→[音量]**タブの順に選択します。

  b. **[タスクバーに音量アイコンを配置する]**チェック ボックスにチェックを入れます。

  c. **[適用]**をクリックします。

- プログラムの音量調整機能：

プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

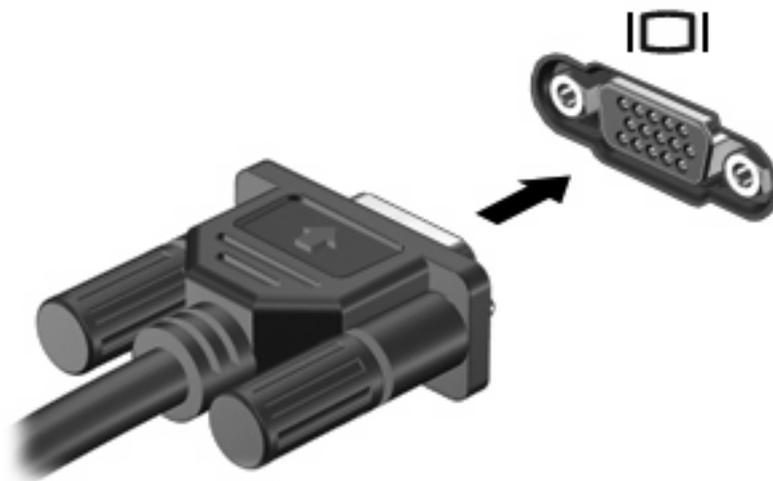
4　動画

お使いのコンピュータでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーションの作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

別売の外付けモニタまたはプロジェクタの接続

外付けモニタ コネクタによって、外付けモニタまたはプロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをお使いのコンピュータに接続できます。

▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニタ コネクタに接続します。

注記： 正しく接続された外付けディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、fn + f4 キーを押して画像をデバイスに転送します。fn + f4 を繰り返し押すと、表示画面がコンピュータ本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

Web カメラの使用（一部のモデルのみ）

お使いのコンピュータによっては、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されているものもあります。プリインストールされたソフトウェアを使用すると、Web カメラを使用して写真の撮影、動画の録画、またはオーディオの録音ができます。写真、録画した動画、または録音したオーディオをプレビューして、コンピュータのハードドライブに保存できます。

Web カメラおよび Web カメラのソフトウェアにアクセスするには、**[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Webcam Application]**（HP Webcam アプリケーション）の順に選択します。

[HP Webcam]ソフトウェアを使用すると、以下の機能を利用できます。

- 動画：動画の録画や再生を行います。
- オーディオ：オーディオの録音や再生を行います。
- 動画のストリーミング：UVC（Universal Video Class）Web カメラをサポートするインスタント メッセージ ソフトウェアとともに使用します。
- スナップショット：静止画像を撮影します。
- HP Presto!Bizcard（一部のモデルのみ）：名刺を連絡先情報に使用できるデータベースに変換するために使用します。

Web カメラ使用上の注意

パフォーマンスを最適にするために、Web カメラの使用時は以下のガイドラインを参考にしてください。

- ビデオ チャットを始める前に、最新バージョンのインスタント メッセージ プログラムを用意します。
- お使いのネットワーク ファイアウォールによっては、Web カメラが正しく動作しない場合があります。

  注記： マルチメディア ファイルを閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザへマルチメディア ファイルを送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定したり、他の侵入検知システムのポリシーや設定を調整したりします。詳しくは、ネットワーク管理者または IT 部門に問い合わせてください。

- 可能な限り、Web カメラの背後と写真領域の外側に、明るい光源を配置します。

Web カメラ プロパティの調整

以下のような Web カメラのプロパティを調整できます。

- **[輝度]**：画像に取り込まれる光の量を調整します。輝度を高く設定すると明るい画像になり、輝度を低く設定すると暗い画像になります。
- **[コントラスト]**：画像の明るさと暗さの対比を調整します。コントラストを高く設定すると画像の対比の度合いが高まり、コントラストを低く設定すると、元の情報のダイナミック レンジを維持しますがより平面的な画像になります。
- **[色相]**：他の色（赤、緑、または青など）から区別する色合いを調整します。色相は色彩と異なり、色彩は色相の強さを示します。

- **[色彩]**：最終的な画像の色みの強さを調整します。色彩を高く設定するとより鮮やかな画像になり、色彩を低く設定するとよりくすんだ画像になります。
- **[シャープネス]**：画像の境界線の緻密さを調整します。シャープネスを高く設定するとよりはっきりとした画像になり、シャープネスを低く設定するとより柔らかい画像になります。
- **[ガンマ]**：画像の中間調の灰色または中間色に作用する対比を調整します。画像のガンマを調整することで、大幅に陰影およびハイライト部分を変更することなく、中間色の灰色部分の輝度を変化させることができます。ガンマを低く設定すると灰色はより黒く、濃い色はより濃くなります。
- **[逆光補正]**：バックライトの明るさを調整します（バックライトが明るすぎて対象物が輪郭のみになるなど、画像が極端にぼやけてしまう場合に使用します）。
- **[夜間モード]**：低光量の状態を補正します。
- **[ズーム（一部のモデルのみ）]**：写真撮影や動画録画でのズームのパーセンテージを調整します。
- **[水平方向]**または**[垂直方向]**：画像を水平方向または垂直方向に回転させます。
- **[50 Hz]**または**[60 Hz]**：ちらつきのない動画の録画のために使用するシャッター速度を調整します。

さまざまな照明条件に対してカスタマイズ可能なプリセット プロファイルは、「白熱灯」、「蛍光灯」、「ハロゲン」、「晴れ」、「曇り」、「夜」といった明るさの状態を補正します。

Web カメラのフォーカスの制御（一部のモデルのみ）

以下のフォーカス オプションがあります。

- **[Normal（ノーマル）]**：Web カメラの出荷時設定は通常の写真に適しています。最短焦点距離がレンズから 1 m 程度、最長焦点距離は無限遠です。
- **[Macro（マクロ）]**：クローズアップ フォーカス設定。このモードは至近距離から写真や動画を撮影するためのものです（一部のモデルのみ）。

[HP Webcam]のフォーカスを表示または変更するには、以下の手順で操作します。

▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Webcam Application]**（HP Webcam アプリケーション）→**[Settings]**（設定）→**[Options]**（オプション）の順に選択します。

名刺画像の撮影

Web カメラを[Presto! BizCard]プログラムとともに使用して、名刺の画像を撮影し、そのテキストを[Microsoft® Outlook]の連絡先などのさまざまな種類のアドレス帳ソフトウェアにエクスポートできます。

名刺の画像を撮影するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[NewSoft]→[Presto! BizCard]→[Presto! BizCard]**の順に選択して、[Presto! BizCard]を開きます。
2. 名刺を 1 枚撮影するには、**[File]**（ファイル）→**[Snap One Card and Recognize]**（1 枚の名刺にスナップして認識）を選択します。

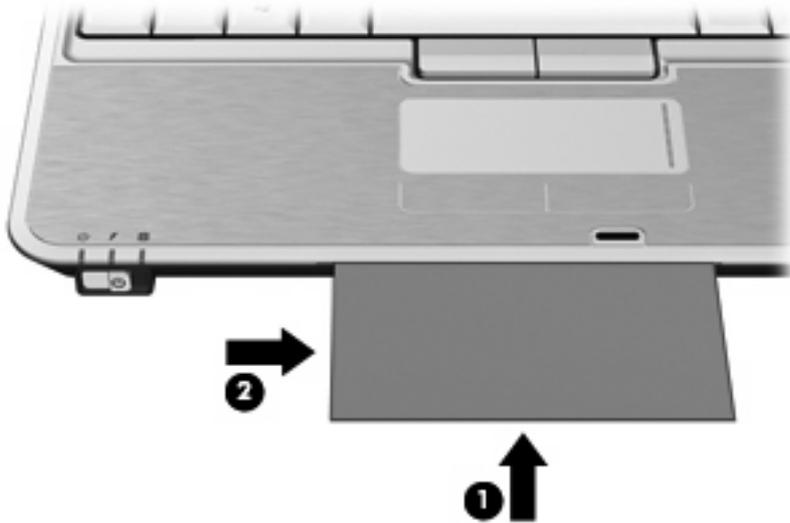
   または

   複数の名刺を撮影するには、**[File]→[Snap Cards and Recognize]**（複数の名刺にスナップして認識）を選択します。

   [Preview]（プレビュー）ウィンドウが開きます。
3. Web カメラのランプ（**2**）が点滅を停止し、音が聞こえるまで、ディスプレイ（**1**）をゆっくりと下げます。

   これで Web カメラの焦点が合います。

4. コンピュータの前面にある名刺スロットに名刺を挿入し（**1**）、カードを右にスライドさせて Web カメラの位置に合わせます（**2**）。

注記： カードの下部にあるテキストがスロットによって隠れていないことを確認してください。テキストがスロットで隠れている場合は、カードを 180 度回転させます。

Web カメラが名刺の画像を撮影し、Web カメラのランプが消灯します。

5. 複数の名刺の画像を撮影する場合は、名刺を取り出して別の名刺を挿入します。名刺に焦点が合うと、Web カメラのランプが点灯します。次に、Web カメラが名刺の画像を撮影し、Web カメラのランプが消灯します。

注記： 複数の名刺の画像を撮影する場合は、新しいデータを確認する前に**[Snap Cards and Recognize]**（複数の名刺にスナップして認識）画面を閉じる必要があります。

残りの名刺にもこの手順を繰り返します。

6. 必要な名刺の画像撮影がすべて終了したら、スロットから名刺を取り出して、ディスプレイを上げます。

7. [Presto! BizCard]で撮影したデータを表示して、すべてのデータが撮影されたことを確認します。

[Presto! BizCard]の使用方法について詳しくは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

索引